



東港金属株式会社 千葉工場 LCA

2023年 第2四半期

RESULT

2023年4月～6月

GHG（温室効果ガス）

削減効果

7,316t
CO2削減*

※スクラップ生産による控除分
バージン材から製造した場合との比較



目的及び調査範囲の設定



目的の設定

①意図する用途

報告書に記載し、一般に公開

②実施する理由

対象の環境影響を明らかにするため

調査範囲の設定

①調査対象

東港金属株式会社 千葉工場

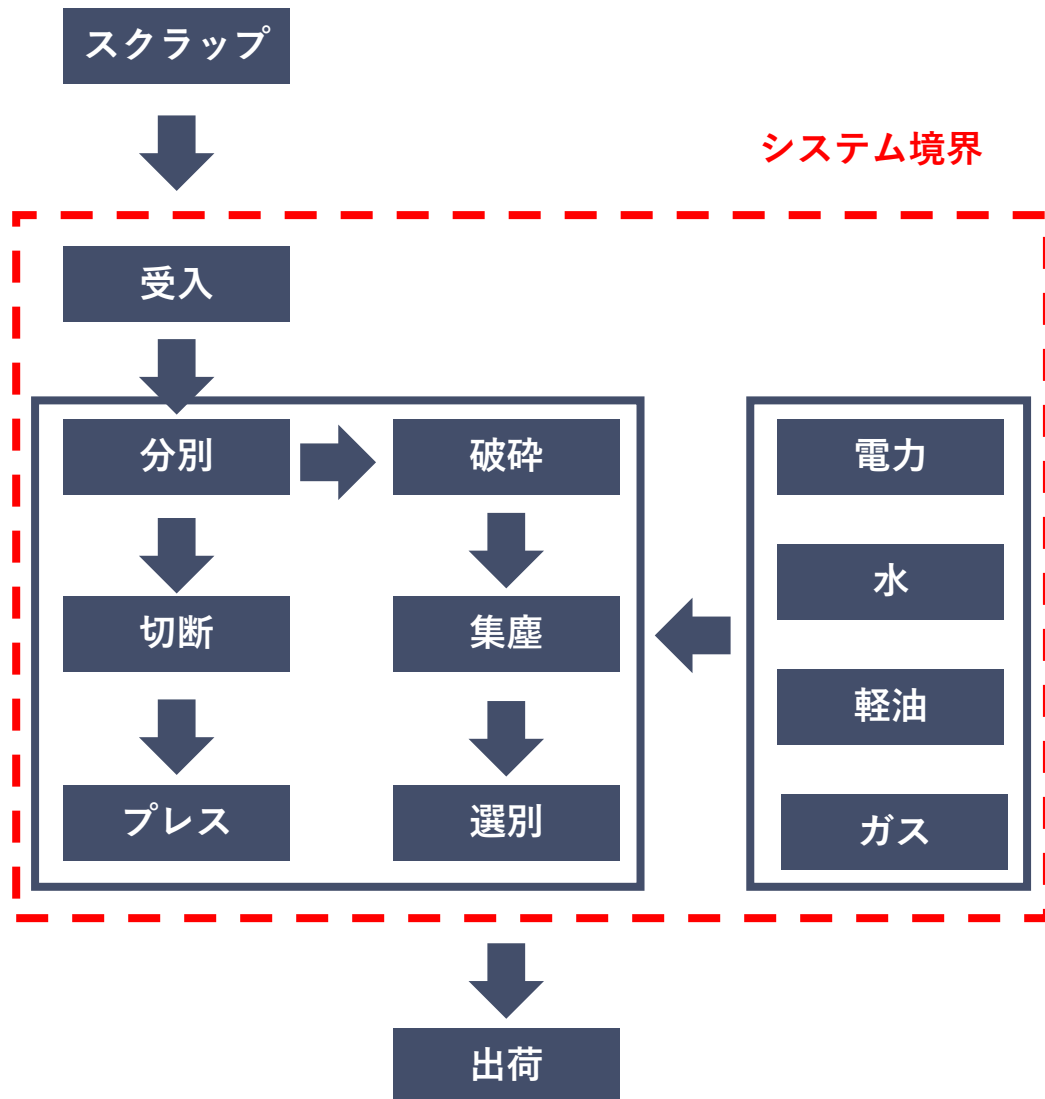
②機能

主破碎 : 1,000馬力

選別方法 : 磁力選別、カラー選別、手選別など

③システム境界

右図 (千葉工場で生産される一部を対象)



インベントリ分析



発生

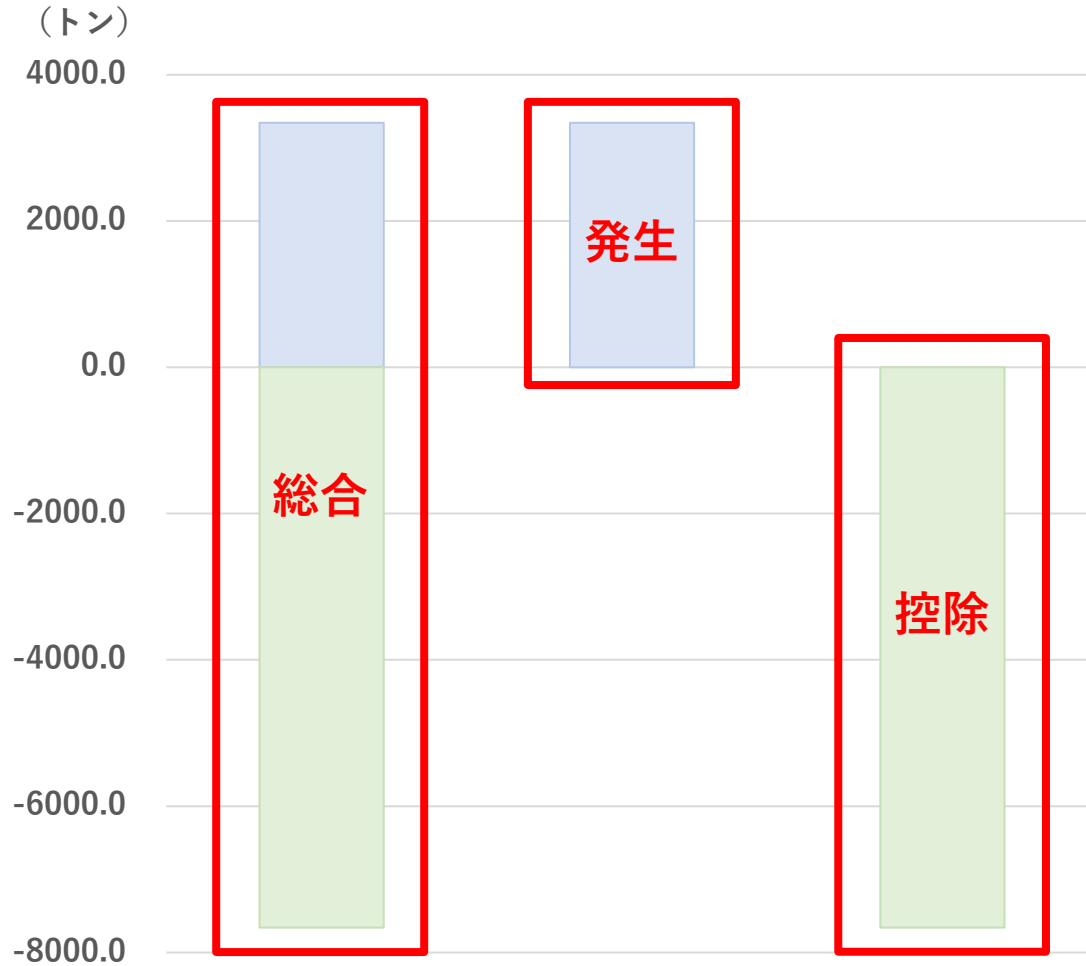
入出力項目		収集データ	
入力	電力	734,711	kWh
入力	軽油	60,719	L
入力	酸素	378	m ³
入力	プロパンガス	20	m ³
入力	都市ガス	39	m ³
入力	水	1,496	m ³
入力	工場設備	58,989	k¥
出力	ダスト	178,423	k¥

控除（生産されたスクラップ量）

入出力項目		収集データ	
出力	鉄	7,822,540	kg
出力	ステンレス	109,166	kg
出力	アルミ	190,091	kg
出力	MIXメタル	593,054	kg
出力	モーターコア	20,276	kg
出力	金銀銅滓	32,798	kg
出力	SSピッキング	8,336	kg

出力項目は平均単価、処分費を掛け合わせて算出する。

インベントリ分析結果



品目	CO2発生・控除量 (トン)
ダスト	3009.77
電力	351.93
軽油	216.33
工場設備	182.82
水	6.46
プロパンガス	0.14
都市ガス	0.07
酸素	0.04
再生用:鋳物用アルミスクラップ	-4667.21
再生用:棒鋼用鉄スクラップ	-2217.01
再生用:ステンレス	-255.06
再生用:MIX銅	-177.02

インベントリ分析には、一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構「EZS3環境帳簿」を用いた。

CO2排出の大部分は、ダストによるものであることが分かった。試験的取り組み且つ月間報告の為、影響評価と解釈は省く。

2023年4月~6月

GHG (温室効果ガス)

削減効果

7,316t
CO2削減*

*スクラップ生産による控除分
バージン材から製造した場合との比較

2023年4月~6月

GHG (温室効果ガス)

3,767t CO2発生

杉の木

約519,436本分の

CO2削減に貢献しました。

CO2 1トンは、

杉の木約71本が

1年で吸収するCO2に相当します。